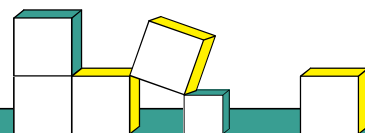




まちの話題

Town topics



9/7

若狭町戦没者追悼式

先の大戦で犠牲となった町関係者 997 柱の御霊を追悼する戦没者追悼式がパレア若狭音楽ホールで開催され、町遺族連合会や町関係者など約 60 人が参列し、戦没者の冥福を祈りました。

黙とうの後、渡辺町長は「誰もが平和で心豊かに暮らせる社会の実現に向けて歩んで来られたのも、尊い命と苦難の歴史の上に築かれたものであることを片時も忘れません」と式辞を述べました。

その後、参列者全員が献花を行い、平和への誓いを新たにしました。



▲式辞を述べる渡辺町長（写真中央）

9/7
9/14

上中中学校・三方中学校 体育祭 開催

上中中学校と三方中学校の体育祭が開催されました。生徒たちは、リレーや綱引き、台風の日などの競技に加え、パフォーマンスなどでも競い合い、熱い戦いを繰り広げました。

このうち上中中学校では、音響機器のトラブルでパフォーマンスの開始が遅れる事態となりましたが、生徒会を中心に歌やダンスで復旧までの時間を繋ぐ姿に、会場からは大きな拍手が寄せられました。見事総合優勝を果たした青組団長の山本渉さん（末野）は「上手く団員をまとめるのが大変だったけど、みんなが協力してくれたおかげで良い結果を残すことができた」と達成感に満ちた表情で話してくれました。



▲青空のもと綱引きをする三方中学校生

9/7

きらやまレインボー通り夏の陣 開催

今年で 3 回目の開催となる「きらやまレインボー通り夏の陣」がリブラ若狭駐車場で開催されました。特設ステージでは福井伝統工芸アイドル「さくらいと」によるミニライブや三方中学校吹奏楽部による演奏などが行われ、会場を盛り上げました。

イベントを主催したきらやま地域づくり協議会の中村清和会長は「たくさんの方が来てくれて、盛り上がってくれたので大成功だった。この祭りが子どもたちにとって、地域との絆を感じるものになると信じている」と、充実した表情で話してくれました。



▲アイドルのライブに盛り上がる会場

9/10

ご長寿お祝い訪問

高齢者に敬老の意を表し、町長が町内在住の今年 88 歳になる方と 100 歳になる方のうち 62 名を訪問し、ご長寿を祝いました。このうち、今年 100 歳を迎えた三宅ハル子さん（麻生野）への訪問では、町からの感謝状に加え、内閣総理大臣からの伝達表彰と記念品（銀杯）が送られました。

三宅さんは「これまでたくさんの楽しいことや辛いことがあった。体はまだまだ元気」と町長と笑顔で話していました。

なお、今年町内では、108 人の方が 88 歳を、13 人の方が 100 歳を迎えられました。



▲町長と笑顔で談笑する三宅さん

9/10

みそみ小学校梨狩り体験

みそみ小学校 3 年生の児童 15 人が、学校近くの吉田清隆さん（岩屋）の農園で、若狭町特産の二十世紀梨「岩屋梨」の収穫を体験しました。児童たちは 5 月に小袋かけ、7 月に大袋かけの作業を体験しており、今回は無事に大きくなった梨をひとつひとつ丁寧に収穫しました。その後、収穫した梨をその場で試食し、みずみずしく甘い梨の味を堪能していました。体験を終えた児童は「大きく育ってくれてうれしい。両親と一緒に食べたい」と笑みを見せてくれました。

吉田さんは、「今年は適度な雨と晴天に恵まれて梨の出来は非常に良い。多くの方に味わっていただきたい」と話していました。



▲自分たちで袋かけをした梨を収穫する児童

9/15

梨フェス 2024 開催

若狭町の特産品「岩屋梨」の魅力を発信しようと、美方高校の「梨フェス」実行委員会の生徒らが、みそみ公民館で梨フェスを開催しました。

同フェスの開催は 2 回目で、今年はみそみ朝市との合同開催となりました。会場には岩屋梨や同校生徒が考案した梨を使ったパンケーキやジャムなどの販売に加え、地域の店舗も出店し、大勢の来場者が商品を買って求めていました。また、ステージイベントとして、梨の皮むき大会や同校吹奏楽部の演奏など、さまざまな催し物があり、盛り上がっていました。

実行委員長の渡邊雅さん（世久見）は「想像以上のお客さんが来てくれたのでとても嬉しい。多くの人に岩屋梨の魅力が伝わる機会になれば」話してくれました。



▲来場者に商品を販売する美方高校生

若狭町 20 年の記憶

～町の歩みを振り返る～

CHAPTER
07

若狭町誕生記念式典



20
WAKASA 20th
若狭町誕生 20 周年

広報わかさ 2005 年 11 月号 (2005 年 10 月 21 日発行) No.007

若狭町の誕生を記念した式典が 9 月 18 日に県立青年の家で行われました。西川知事をはじめ、地元選出国議員ら約 300 人が出席。町の紹介ビデオの上映や小学校 6 年生による「ビリーブ」の大合唱が行われました。式典の最後は、三方中学生会長の丸山了司君（三方）が閉会の言葉を述べ、締めくくりました。

その後、会場を縄文ロマンパークに移し、小学生の夢を書いたメッセージ付きの風船が飛ばされたり、宇野恵子さんのコンサートが行われるなど、新町の誕生を祝いました。



▲市内 11 小学校の 6 年生が
ひとつに 200 人の大合唱



▲閉会の言葉を述べる
居間彩子さん（上野木）

社会教育委員ってなに??

瓜生地区地域づくり協議会で膳部（ぜんぶ）山から古墳を一望する 社会教育委員 中村 秀明

瓜生地区地域づくり協議会では、地元進出企業の協賛のもと登山道整備をし、古墳と膳部山の周知のために登山口に看板を設置しました。これも社会教育委員の活動の一つだと思います。

社会教育は、学校の教育課程に入らない全ての教育活動を指します。公民館の事業、地域づくり協議会の事業、女性の会、子ども会、老人会など、それら全てが社会教育です。そして社会教育委員はそれらの活動計画の立案・支援をするとともに、教育委員会に対して助言や意見を述べる機会が与えられています。

私は、この4月から瓜生公民館の館長をしています。公民館を子供たちにも活用してもらおうと7月末に6日間公民館を開放し、学習の場を提供しました。誰も来ないかもしれないとも思いましたが、結果は累計123人の小学生の利用がありました。今後は中学生や高校生も利用してくれることを期待しています。

今回の企画で驚いたのは参加者数だけではなく、各家庭と学校が一体となった教育力が生きていると感じたことです。ある児童が自分の履物を玄関で揃えて公民館に入ったのです。当たり前のことができなくなるのが日常ですから、素晴らしいと感じた瞬間でした。

この子たちが20年後も若狭町で活躍してほしいと願うばかりです。

しかし、若狭町には心配事もあります。2050年の町の人口は7,779人に半減すると予測されています。高齢化はより進行するため、子供の減少はより深刻です。この事実とどう向き合っていくのか皆さんと共に考えていきたいと思います。



▲中村秀明さん

教育委員会事務局 ☎0770-62-2731

診療所だより



～土曜日に予防接種外来を開設します～

「新型コロナウイルスワクチン」「季節性インフルエンザワクチン」の予防接種が受けられます。

開設日

- ①10月26日（土）
- ②11月9日（土）
- ③11月16日（土）

会場

上中診療所外来

時間

受付 13:00～16:00
※予約が必要です。

2種類のワクチンの同時接種も可能です。
予約時にお申し込みください。
※どちらか1種類のみでも可



対象者

予防接種希望者

町から接種券が届いている方は、予診票に記入の上、・予診票・接種券・おくすり手帳・接種料金（負担金）をご持参ください。接種料金（負担金）は接種券に記載されています。

問い合わせ 健康医療課 上中診療所 ☎0770-62-1188



食で育む、人と地域



家庭での食品ロスを減らそう ～ 10月 は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です～

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物のことを「食品ロス」といいます。

日本における食品ロスの量は年間 472 トン（令和 4 年推計値）。その内の半分は家庭から発生している家庭系食品ロスです。この量は日本人 1 人当たり 38 kg / 年の食べ物を捨てていることになり、国民全員がおにぎり 1 個（110 g）相当の食べ物を毎日捨て続けている計算になります。食品ロスは少しの意識と工夫で減らすことができるので、日々の生活の中でできることから始めてみませんか。

家庭における食品ロスの要因

- ① 食べ残し・・・料理を作りすぎる等して捨ててしまうこと
- ② 過剰除去・・・野菜の皮や茎など食べられるところまで切って捨ててしまうこと
- ③ 直接廃棄・・・未開封のまま食べずに捨ててしまうこと

食品ロスを減らすためのポイントは 3 つの「ない」を心掛けること！

- ① 買いすぎない・・・必要な分だけ購入する
- ② 作りすぎない・・・食べきれる量を作る
- ③ 食べ残さない・・・食べきれる量を作る



買い物時のポイント

- ・ 買い物の前に冷蔵庫や食品庫にある食材をメモ書きや携帯スマホで写真を撮るなどしておきチェックする。
- ・ まとめ買いを避け、使う分、食べられる量だけ購入して食べる。
- ・ すぐに使う予定の食材は、お店の食品棚の手前から取る。（てまえどり）

調理・保存時のポイント

- ・ 食品に記載された保存方法に従って適切に保存し、野菜は冷凍・茹でる等下処理をしてストックする。
- ・ 残っている食材から使い、食材を上手に使いきる。
- ・ 体調や家族の予定等を考慮し食べきれる量を作る。

その他のポイント

- ・ 食品の期限表示について正しく知る。
【賞味期限】・・・おいしく食べることができる期限
【消費期限】・・・過ぎたら食べない方がよい期限（いずれも未開封の場合）

詳しくは以下のサイトをご覧ください

■消費者庁「めざせ！食品ロス・ゼロ」

<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/index.html>



■環境省「食品ロスポータルサイト」

<https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html>



■農林水産省「食品ロス・食品リサイクル」

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/



■おいしいふくい食べきり運動

<https://info.pref.fukui.lg.jp/junkan/tabekiri/>



食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

問い合わせ 産業振興課 特産振興室 ☎0770-45-9102

若狭町制20周年記念 第15回 若狭町伝統文化のつどい

ユネスコ無形文化遺産

国指定重要無形文化財

組踊

沖縄の伝統芸能

特別鑑賞会

文化庁
Agency for Cultural Affairs
Government of Japan

文化庁補助事業

組踊 (くみうどうい) とは

せりふ、歌、踊りを組み合わせた沖縄の伝統的な歌舞劇です。沖縄が琉球王国であった時代の1719年に中国皇帝の使者を歓待するために初演されました。以来、今日まで継承されています。組踊は、日本の能楽や歌舞伎なども取り入れて創作され、国指定重要無形文化財とユネスコの無形文化遺産になっています。

第1部 琉球舞踊・組踊「護佐丸敵討」

日時 令和6年12月7日(土) 14:00開演
(13:30開場)

会場 パレア若狭 (音楽ホール)

〔セリフ等の解説・字幕付き〕

入場
無料
全席指定
要整理券

● お問い合わせ 若狭三方縄文博物館 TEL:0770-45-2270

福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1番地

○受付時間 9:00 ~ 17:00 (火曜日を除く)

入場整理券取扱場所 パレア若狭 若狭三方縄文博物館

※入場整理券は無くなり次第終了、お1人様につき4枚まで。

主催：一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 若狭町伝統文化保存協会

共催：若狭町 若狭町歴史環境講座企画運営委員会

11月1日(金)より
入場整理券配布



パレア若狭地図